

2017年度 関東甲信越地区セミナー 「周術期における看護記録」アンケート集計結果

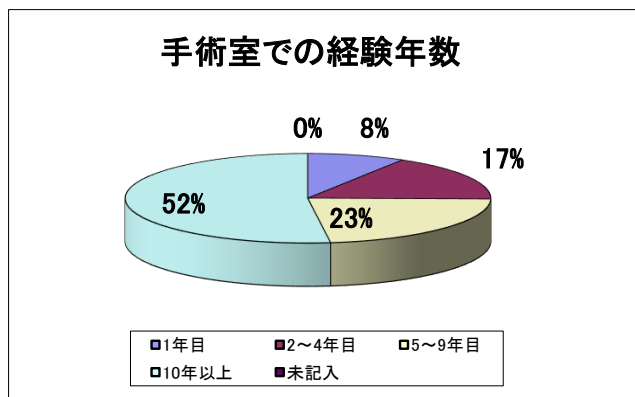
日時: 2018年 2月 10日(土)

場所: 林野会館

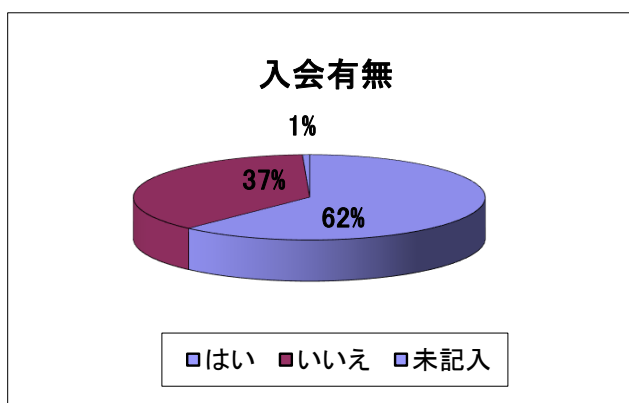
参加人数: 160名 (会員 102名、非会員 58名)

アンケート回収数 150枚 93.7%

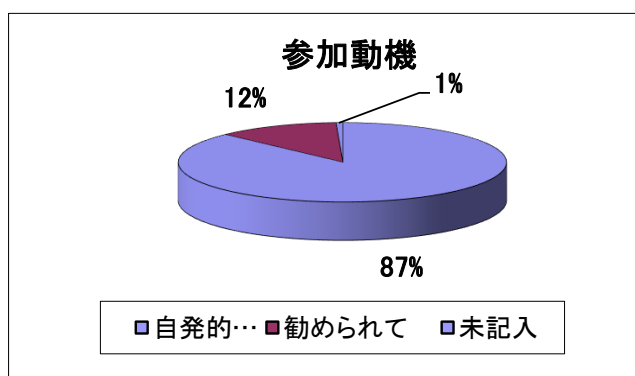
1. 手術室での経験年数



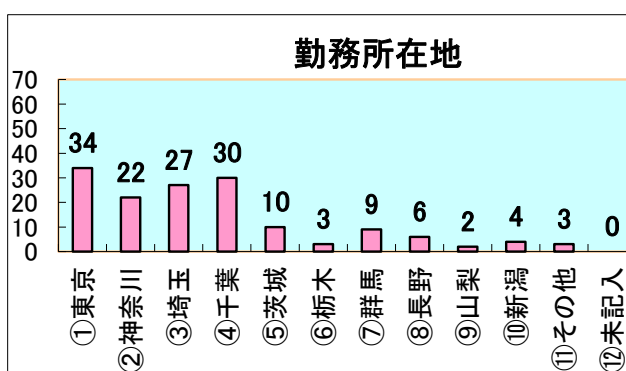
2. 日本手術看護学会に入会されていますか



3. 当セミナーへの参加動機について

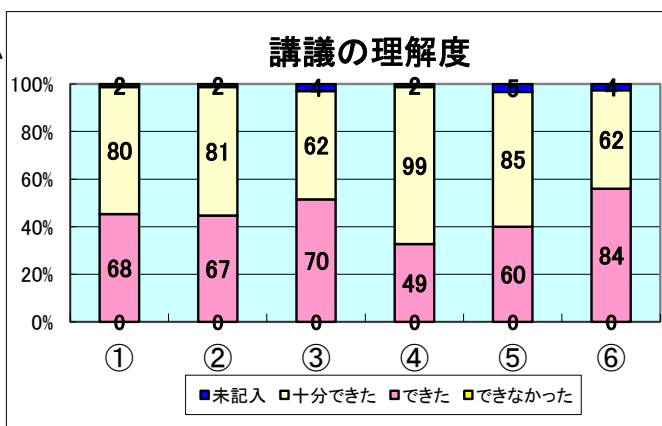


4. 勤務先所在地



5. 講義内容の理解について

- ①周術期における看護記録の基本について理解できましたか
- ②手術看護記録の実際「術前」について理解できましたか。
- ③手術看護記録の実際「術中」について理解できましたか。
- ④手術看護記録の実際「医療事故における看護記録の重要性」に
- ⑤手術看護記録の実際「術後」について理解できましたか。
- ⑥手術看護記録の実際「記録監査」について理解できましたか。



6. 今回の研修内容は満足でしたか。

満足:128人(77.5%) 不満足:0人(0%) 未記入:22人(22.5%)

満足

- ・他院の記録内容を知る機会はあまりないためとても興味深かったです。診断の根拠も知ることができてとても良かった。
- ・自分の働いている手術室事情しか知らなかったので他の病院の記録について知ることができてとても良かった。
- ・便利な電子カルテシステムを知れて勉強になりました。
- ・いろいろ大変ですが今回学んだことを活かしてしっかり記録として残せるように頑張っていきたいです
- ・自部署では術前訪問を実施できていないので術前訪問、記録の重要性が学べました。
- ・手術室の看護記録について基本的なことから理解できました。
- ・記録に関することについていろいろ聞いて良かった。手術室での看護について振り返ることが出来ました。
- ・術中看護計画の立案はまだやっていないの病院なのでこの研修が大変参考になりました。
- ・大変面白かったです。電子カルテではまだまだ発展途上だと改めて感じました。周りを巻き込んで良いカルテが作れればと思います。
- ・周術期における看護記録の重要性を改めて理解できました。
- ・看護記録に関する本や雑誌はたくさんあるが「手術室」という分野において詳しく書いてあるものがなく、参考にするのが出来なかった。
今回の研修で当院のできるどころから始めていきたい。
- ・話にユーモアがあり聞いていて興味がわきました。睡魔に襲われない聞き取りやすいセミナーでした。
- ・看護記録の基本がわかっていないと気付いた。電カルになったので、記録のマニュアル作りが出来るように研修を活かしたい。
- ・記録時間の延長に悩んでいましたが解決しました。
- ・堅苦しい話だけではなく、質問への回答も含め具体的な話を聞くことが出来て参考になりました。
- ・看護記録のありかた、書き方、書く理由、看護過程との関わりなどもわかりやすかった。
- ・質問シートはとても良かった。
- ・手術室の看護記録のもやもやしている部分が解決できた。
- ・知りたかったことが実際に聞いて良かった。看護記録以外の質問にも返答していただき、充実した内容でした。たのスタッフにも進めたいので来年度もよろしくお願ひします。

不満足

- ・追加スライドの資料も別で配布するなどしてもらえると良かった。部屋の大きさに対して画面が小さく後ろのほうは見えませんでした。
- ・自部署で解決できる問題を質問するのは時間がもったいないので控えてほしい

7. 今後のセミナー希望

- ・手術室における災害看護の基本
- ・手術室で使用するクリニカルパス
- ・外来との連携
- ・医療安全
- ・急変時の看護
- ・周術期の記録についてもっと詳しく
- ・インシデント・アクシデント予防のための検討から対策実施、追跡方法
- ・新人看護師に対してのマネジメントやティーチング、コーチング

8. セミナー企画運営についての意見・感想

- ・手術室のセミナーは開催場所がほとんど関東なので地方でも開催されると大変うれしい。
- ・手術において記録がなぜ必要か、どうして残さないといけないのかという内容だったので、開催を2月ではなくもう少し早い時期に新人を対象に希望します
- ・研修の質が年々あがってきている。とても勉強になります。
- ・振り込みになり申し込みがスムーズになりました。